

川中だより

令和8年5月27日(水)発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第2号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>



地域の力に感謝～ふるさとウォーク～

校長 若月 隆雄

5月1日、創立79周年記念行事「ふるさとウォーク」を実施しました。本行事は、生徒がふるさと「川東」を五感で感じながら仲間とともに歩くことで、地域の良さや人とのつながりの大切さを改めて実感することを目的としています。

今回はクマ出没への対策も踏まえ、川東地区の歴史を学ぶ要素を取り入れたコースにしました。しかし、当日は強風の影響により、安全を最優先に判断し、途中で中止し、学校に戻ってきました。

今回のふるさとウォークガイダンス(4/23)では、地域コーディネーターの渡邊さんからコース説明や歴史的建造物の由来についてお話をいただき、生徒たちは初めて知る内容に興味深く耳を傾けていました。



<事前ガイダンス>

また、安全確保のため、自治会長の皆様のご協力により、各ポイントに約20名の見守りボランティアを配置していただきました。強風の中でも生徒たちを温かく見守ってくださった地域の皆様に、心より感謝申し上げます。コース変更により、板山から先で待機されていた皆様にはご迷惑をおかけしましたが、生徒の安全を第一に考えた判断であることをご理解いただければ幸いです。

当日は6名の保護者の皆様にもご協力いただき、急な変更にも柔軟に対応していただきました。生徒からは「すべてのコースを歩きたかった」「天候に恵まれず残念」「ゴールが近くなって安心した」など、さまざまな声が聞かれました。今回は13kmのショートコースとなりましたが、風雨の中でも全員が最後まで歩ききることができ、この経験は今後の学校生活においても大きな力になるはずです。

事後学習では、ふるさと川柳や俳句づくりに取り組み、個性あふれる作品が完成しました。これらの作品は、新発田市立図書館(イクネスしばた)で開催されるふるさと川柳大会に応募する予定です。

本行事の実施にあたり、見守りや同行など、多くの地域の皆様に多大なるご協力をいただきました。また、地域コーディネーターの渡邊さん、菅さんには、関係各所との連絡調整や施設利用の手配など、多方面にわたりご尽力いただきました。改めて深く感謝申し上げます。今回のふるさとウォークを通して、生徒たちは地域とのつながりや、支えてくださる方々の存在の大きさを実感することができました。川東の自然、歴史、そして人の温かさに触れる貴重な機会となりました。

今後も「地域とともにある川東中学校」として、地域への感謝の気持ちを大切にしながら歩んでまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。